

あなんちょう 議会だより

令和8年7月15日 第106号 広報広聴委員会



夏・・始まるよ!!

町内各地でプール開き



B&G プール開き (6/20)

富草小1・2・5・6年生プール開き (6/22)

主な内容

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| ◆ 町議会議員補欠選挙当選者あいさつ . . . 2 | ◆ 町長所信表明、議会の動き 7 |
| ◆ 第3回議会定例会報告 4～6 | ◆ 一般質問 8～11 |
| | ◆ 議会勉強会、編集後記 12 |

当選者あいさつ



吉澤 伊久男

4月26日に行われた阿南町議会議員補欠選挙にて、多くの皆様のご支援をいただき、当選することができました。町民の皆様には厚く御礼申し上げます。

公約として、安心して暮らせる町づくりを挙げました。町議会議員として責任をもって進めて行きたいと思います。町民の皆様とともに阿南町が希望ある明るい町になるよう努めてまいりますので、一層のご指導ご協力をお願い申し上げます。

令和8年4月26日 阿南町議補選 開票結果

当 690 吉澤伊久男(68) 無新①
656 青木美恵子(71) 無新

(無効 89 票)

投票率 42.98% (男 44.09%、女 41.92%)
有権者数 3,339 人 (男 1,624 人、女 1,715 人)



当選証書授与式 (4/27)

無料招待受け富草保育園児 ブルーベリー狩り楽しむ！



ブルーベリーファームあなん (富草門原：6/24)

阿南町チーム悲願の優勝!!

県大会(7/12：長野市)へ出場



Instagram



飯伊消防技術大会ポンプ車操法の部 (6/21：阿智村)

第3回議会定例会(6月)報告

第3回議会定例会は、会期13日間で、令和8年6月5日(金)に開会、総務産業建設常任委員会、社会文教常任委員会、予算決算常任委員会等で審査し、17日(水)再開。提案された案件等は、報告事項4件、専決承認事項7件(令和7年度の条例改正1件、補正予算6件※一般会計補正予算は「専決承認事項概要説明」参照)、条例案3件(制定・改正・廃止)、令和8年度補正予算4件、工事請負契約締結1件、財産取得1件、任命同意人事案件2件。その他に請願1件、意見書案1件。いずれの案件とも全て可決(承認、同意、採択)とした。

※案件等は町広報あなん7月号(7/15発行)をご覧ください。

専決承認事項概要説明

6月5日開会日提出
令和7年度町一般会計補正
予算(第10号) 専決承認

将来のため基金積立に!!

歳入歳出2, 826万2千
円追加補正
(総額57億2, 224万4
千円)

令和7年度最終補正は、
事業実績確定に伴い、歳入

歳出の不用額等を整理し、
歳出余剰金を後年度大型事
業や公共施設修繕に充当で
きるよう、次のように基金
積立とするもの

基金積立金2億222万
9千円(内訳: 財政調整基
金積立44万6千円、減債基
金積立1億円、公共整備施
設整備基金積立1億178
万3千円)

総務産業建設常任委員会

6月11日(木)午前9時30分
から協議会室に於いて開
催。付託案件1件を審査し
た。

主な審査内容

● 工事請負契約締結事項中
変更について

令和7年度(繰越) 都市
再生整備計画事業 公園整
備工事 コミュニティの森
95万7千円増額し6, 4

93万3千円とするもの。

以上1件審査の結果

原案可決すべきもの

社会文教常任委員会

6月11日(木)午後1時30分
より、協議会室において開
催。付託案件5件について
審査した。

主な審査内容

● 議案第40号 HHOライ
フセンターの設置及び管理



コミュニティの森公園路盤整備変更箇所

に関する条例について

● 議案第41号 福祉医療費

給付金条例の一部を改正す

る条例について

● 議案第42号 国民健康保

険税条例の一部を改正する

条例について

● 議案第43号 就労支援セ

ンターの設置及び管理に關

する条例を廃止する条例に

ついて

以上4件審査の結果

原案可決すべきもの

請願

● 請願第1号 「さらなる

少人数学級推進と教職員定

数改善のための教育予算確

保」と「義務教育費国庫負

担制度の堅持・拡充を求め

る請願書」

採択すべきもの

議会のことば まめ知識

「債務負担行為」

自治体は本来単年
度で予算をたて執行
する「単年度主義」ですが、例外
として将来にわたっての支出を決
めることがあります。議会は、事
業の期間と限度額に対して議決を
することになります。事業の計画
的・効率的な実施が目的ですが、
物価高騰の影響、将来の歳入(自
治体の収入)の不確実性、他事業
への影響など、考慮すべき点は少
なくありません。



※6頁簡易水道会計関連記事参照

令和 8 年度一般会計補正予算（第 1 号）

6月12日(金)午前9時から11時まで協議会室にて開催。付託案件4件について審査した。

税外町料金スマホ決済、住民票等コンビニ交付開始

歳入歳出2,402万7千円追加補正
(総額44億4,402万7千円)

歳入の主なもの 地方交付税、国県補助金他増額

歳出の主なもの 公仕業務委託、行政手続き押印規制事業、公用車購入、文化会館音響設備更新、住民票等コンビニ交付事業、道路測量設計・住宅解体事業、消防等施設費他増額

主な審査内容

問 令和 9 年から 住民票等コンビニ交付開始!?

地域未来交付金（50%国補助）で、住民票等コンビニ交付いつから？
マイナンバー必要で未加入者周知必要では？

答 準備に半年必要。最速で来年1月1日開始予定。マイナンバー未登録者約20%、周知検討。

問 早稲田避難地工事着手!! 県営急傾斜地崩壊対策事業

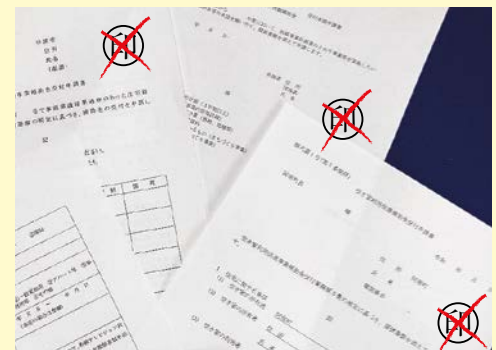
大雨時避難が続いた早稲田堀割付近の工事。県単事業を緊急防災事業債等財源活用し大規模実施できないか？



答 県単で町負担100万円補正。県へ緊急防災事業債（交付税70%措置）で大規模化可能が確認。

問 町への書類等印鑑不要に!?

行政手続き押印規制支援業務委託の内容は？



答 総務省通知を受け、約200条例を精査。押印不要申請は廃止し、住民利便向上と電子申請対応のため業者見直しを委託。

問 税以外もスマホ決済対応に 賦課徴収システム改修委託の内容は？

答 住宅料・保育料等 9 月から、水道は来年 4 月から QR 決済対応とする新システム導入（88 万円）と、地方税電子申告システム更新（55 万円）。税は電子化済み。

問 住民便利になる一方、町は手数料増で、 減収の仕組みでは？

答 滞納がゼロにはならないが、QR 非対応納付書は銀行手数料が高騰。QR 化で多少負担増でも、住民の 24 時間支払いの利便性向上優先。

阿南町 納付書（納入済通知書）
令和 8 年度 阿南町 納付書（納入済通知書）
納入金額 3,090 円
納入期日 令和 8 年 9 月 25 日
納入場所 阿南町 納付書（納入済通知書）
納入金額 22,000 円
納入期日 令和 8 年 9 月 25 日
納入場所 阿南町 納付書（納入済通知書）

問 鴨目小型ポンプ車 車庫廃止 消防施設解体とは？



答 鴨目詰所廃止で地主へ返還。建物払下げ、ホース塔・団名・赤色灯撤去費用。

問 HHO ライフセンター(富草) 竣工イベント開催!!

診療所費の講師謝礼、イベント準備委託料とは？



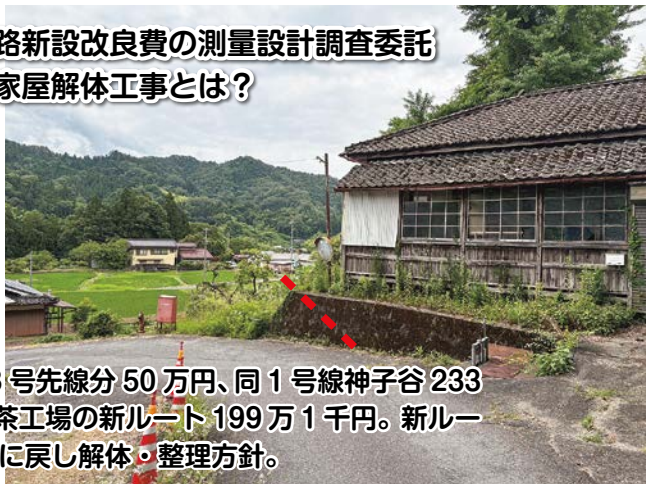
答 HHO ライフセンター竣工式（7 月 25 日土）のテープカット等委託費と式後の住民向け講演会で元京大教授へ謝礼支払い分。

問 旧川田分校建物解体!!

道路新設改良費の測量設計調査委託と家屋解体工事とは？



答 測量設計 482 万 3 千円は、大下條 8 号先線分 50 万円、同 1 号線神子谷 233 万 2 千円、同 1 号線旧川田分校～旧お茶工場の新ルート 199 万 1 千円。新ルートは地元等説明調整済み。旧分校は寄付で町に返し解体・整理方針。



大下條 1 号線新ルート予定案

解体予定の旧川田分校

問 文化会館音響設備更新は総務省規則

文化会館音響設備更新は、故障等の問題ありか？



答 老朽化で雑音も増え、旧規格で総務省改正により更新必須。無線・アンプ・スピーカー一括更新する。

問 職員定員の適正見直しを

昨年度職員数 74 人から 71 人となり、会計年度職員 80 人で正規より多い。適正数や募集状況は？



答 新陳代謝により現在、特別会計職員含め現状 77 人。条例定数 85 人、定員管理計画 76 人想定。若干名募集。

問 新町長の仕事量検分で、定員管理計画見直しに期待。

令和 8 年度国民健康保険特別会計 補正予算（第 1 号）

歳入歳出 22 万 1 千円追加補正
（総額 4 億 1,693 万 9 千円）
国保税徴収用紙枚数見直し増額。

主な審査内容

特になし

令和 8 年度介護保険特別会計 補正予算（第 1 号）

歳入歳出 3,616 万 8 千円追加補正
（総額 8 億 16 万 8 千円）
前年度介護給付費等実績確定に伴う
国庫負担金等償還金の増額。

主な審査内容

特になし

原案可決
すべきもの

以上
補正予算 4 件の
審査結果は、

令和 8 年度簡易水道事業会計 補正予算（第 1 号）

歳入歳出（現金換算）
金 52 万 6 千円減額補正
（総額 2 億 8,788 万 3 千円）

第二導水ポンプ場非常用発電機更新工事を債務負担行為とし令和 9 年度までの複数契約に !!

主な審査内容

停電時自動起動機能不具合 第 2 ポンプ場非常用発電機

問 非常用発電機を単年度から債務負担行為で 2 年間実施にした理由と市販発電機転用の検討は？



答 中東情勢で 2,000 万円程増額と工期延長必要となり、翌年度補助対応で 2 力年債務負担行為に変更。今年度は製作・撤去・仮設電源、来年度に設置。発電機は規格選定で市販品転用は未検討。

- 無投票当選の責任を自覚し、町民の期待に応える。
- 7つの公約(人口減少対策・産業振興・教育福祉・インフラ交通・防災強化等)を柱に、総合戦略を基軸に施策推進。
- 令和8年度は投資事業を精査しつつ進め、本年度は基盤づくりとして財源確保・効率化・組織強化を進行。議会とは協働し、町の未来へ取り組む姿勢を示す。
- 町は土砂災害に弱い地形多いため早期情報と最大警戒を要請。熊は昨年3件・今年1件、遭遇時は静かに離れ役場へ連絡。
- 4月から新野診療所は公設・公営に移行。富草・和合と同体制運営開始。今後も地域医療の確保に努める。
- 国保は加入者減と医療費高止まりの中、県の応益割・税率統一方針に沿って比率調整。今年度税率は子育て支援金分のみ増、他は据え置き。理解を求める。
- HHOセンター利用増で新施設を新築し6月末完成。シェルターカプセル導入で機能強化。7月25日に竣工式と講演会を行う。
- ふるさと納税「農業支援米」開始3日で満了。5/28時点で2,105件・約1億2千9百万円、1,431俵。生育を見て二次募集検討。生産者引き続き出荷協力依頼。
- 議会提出案件説明。



議会の動き

6 月	5 月	4 月
25日 国道153号飯田南バイパス整備促進期成同盟会総会(議長:飯田市)	28日 議会運営委員会	30日 議会運営委員会
23日 町農業振興地域整備促進協議会(関係議員)	27日 全国正副議長研修会(議長:東京都)	27日 当選証書授与式
17日 第3回議会定例会再開	26日 町村議長会総会(議長:飯田市)	26日 町議会議員補欠選挙
12日 予算決算常任委員会	25日 広域連合議会(関係議員:飯田市)	21日 町長・議員補欠選挙告示日
11日 総務産業建設常任委員会・社会文教常任委員会	20日 国保運営協議会(関係議員)	6日 富草・大下条小学校、新野学校、阿南第一中学校入学式
10日 信州アトム定時社員総会(関係議員)	19日 南部地区議会評議員会(関係議員:阿南町)	
9日 主要地方道阿南根羽線改良促進期成同盟会(関係議員:売木村)	11日 議会全員協議会	
5日 第3回議会定例会開会		
2日 議会全員協議会		

一般質問



一般質問は 7 人が行いました。



一般質問録画放送は
「令和8年6月定例会YouTubeチャンネル」
からご覧ください

●平塚 ケーブルテレビに
ついては、現在の自主放送
が人材不足や編集作業の負
担により放映までに時間が
かかることが以前より課題

問 CATV の資源活用と 将来に向けた提案について

現状維持と慎重な対応が必要



平塚伊久夫

■総務課長 FTTH化
を検討してはいかがか。

●平塚 ケーブルテレビの
FTTH化の工事が進めら
れているが、災害時の情報
伝達や高齢者の見守り、医
療分野等への活用の可能性
を検討してはいかがか。

となってい
る。人材に
ついて今後、
地域おこし
協力隊の活
用を検討し
てはいかが
か。また他
町村ではす
でに展開し
ているが、
当町も住民
参加型の番
組制作を検
討し、コ
ミュニティ
チャンネルとしての役割を
強化すべきではないか。

■総務課長 地域おこし協
力隊を人材に起用する場合、
3年間の任期終了後の継続
性や、運営費用の問題もあ
るため、現状維持と考える。

●平塚 ケーブルテレビの
FTTH化の工事が進めら
れているが、災害時の情報
伝達や高齢者の見守り、医
療分野等への活用の可能性
を検討してはいかがか。



CATV 編集作業室

◆城田孝一郎資料館に残る
作品の保存について
◆コミュニティの森公園整
備に伴う防犯対策について

その他の質問

は「ケーブルテレビネット
ワークの耐災害性強化事
業」の国補助金を活用した
事業であるため、見守り力
メラや緊急通報などへの利
用は目的外使用に該当する
可能性があり、慎重な対応
が必要となる。



小泉 健一

問 町長公約実現と町政運営の考えは？

職員に公約目標を求め、実行力向上で公約実現へ

●小泉 公約7項目のうち、今年度まず何に着手するか。
■町長 公約は総合計画、デジタル田園都市戦略の継承改善が基本。今年度は現状分析と課題整理。人口減、産業活性化、防災・インフ

ラ対応等現状課題継続。
●小泉 公約実現の進め方や財源、前町政評価の考えは。
■町長 職員に公約に沿った目標設定を求め、継続・新規施策を並行検討。国県補助、起債、民間連携、既存事業等見直し財源確保。前町政の継続と改善点や優先順位は財源や体制を踏まえ総合的に判断。

職員が何う等最適な方法で反映。職員属人化解消の電子化や業務量の見える化を進め、各課職務内容や組織体制把握や見直し、スキル向上、働き方改革等総合的に進め、採用難の中、効率の組織運営を図る。
●小泉 職員減少踏まえ、DXや組織改革、職員主体的予算編成など将来を見据えた改革に期待。議会も持続可能なまちづくりの方向性同じ。町長には失敗を恐れず挑戦し、町政運営に力を発揮していただきたい。



一般質問町長答弁

問 統廃合は「数」のみでない多角的な議論を

統合を前提にせざるを得ないときが来る



尾崎真理子

●尾崎 子どもの学習環境について、従来は「適正規模」を最重要課題としてきた。一方で「子どもたちに必要な学力」について議論が深まらず、財政面も検討されなかった。また、子ど

もの意見が聞かれなかった点が課題だ。3月議会で教委は「保育園や小学校の今後については議論し、検討したい」と答弁したが、子どもたちに必要とされる学力、財政面も含め時間をかけて議論を深めていく必要があるのでは。
■教育委員会事務局長 文科省が平成27年に策定した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置に関する手引」が妥当とされている。今後は財政面も含めての議論が必要と考えている。

●尾崎 文科省の手引きは統合の基準で教育学的根拠はない。現在「適正規模」に満たない学校が全国で公立小学校の約4割、中学校の5割。教育環境を考えるときには複数の視点が必要だ。数の論理で話が進めば、町が学校を維持できなくなるときがすぐにくる。数十年前の学校教育制度を一回忘れ、ひとクラスに数人しかいない現状を直視し、これからの教育環境について学び議論を重ねていくしかないのでは。保護者の意見を尊重する姿勢は良いが、保護者、住民に情報を与え学習させ、議論できる力をつけてほしい。それが教委の役割だ。
■教育長 「統合ありき」で進めるつもりはないが、現実的にこれだけ子どもが減ると教員確保が難しいなどもある。専門家にも意見を頂く中で考えていくが、統合を前提に考えるときがくると思うている。

●尾崎 学校のかたちでなく中身が大切。これから先に必要となる力は何だという議論をきちんとしないと未来に禍根を残す。将来の阿南町を担う人に、15歳の時にどんな力、学力、能力、資質を身につけてほしいのか考えてほしい。



寺子屋での学びの様子



金田 豊

問 プラごみ収集回数増を希望

費用対効果を検証する

週にしていたけると助かるという声がある。

飯田下伊那を調べてみると、飯田市の町中ではほぼ毎週、豊丘も隔週の土日のような形で集めている。喬木村、下條村も月3回、何とか収集回数を増やす検討をできないか。

■建設水道課長 町内にごみの収集ステーションが81か所あり、1年間でおよそ3万袋のプラスチックごみが排出されている。

プラスチックごみは、かさばりやすく、月2回の収集、それまでは各家庭での保管だが担当係へ住民の方から「毎週収集してほしい」といった直接的なご要望は寄せられていない。

仮に収集を毎週に変更した場合、住民の利便性は向上するが、収集業務の回数が倍増し、収集委託費は倍増が見込まれる。費用対効果も含めて、どのような対



プラごみ収集場

応が適切に見極めていきたい。

●金田 周辺の町村の役場からのお知らせでは、1年中のカレンダーが出ており良いと思う。また、スマホを登録しておく収集日の前の日の6時にメールが来るというサービスもやっているの、いろいろ研究しながら、住民の利便性向上を図っていただきたい。

その他の質問

◆電磁波による健康被害について

◆訪問介護事業所への支援について

問 深沢阿南線早期復旧と住民周知を!!

未だ安全確保に不安 通行止め周知実施



村澤 博光

えて頂きたい。
■建設水道課長
本年4月7日

の落石発生以来、現在もまだ全面通行止めのため、地域住民の皆さまの日常生活への大きな影響、大型車両が通行できないことで産業活動にも支障が生じており、町としても大変

重く受け止めている。住民への周知は、ケーブルテレビ、または回覧等を使い示したい。

建設事務所から、道路から50メートルの高さに巨大な岩がいつ落ちてもおかしくない状況と報告を受けており、作業するには作業員の安全確保、人が近づいた

めのルート確保の2点対策を進める上で最大の壁となり極めて困難な状況。

●村澤 非常に巨大な岩があるということだが、大型車両、10トン車が通れるの



県道深沢阿南線 落石 通行止め

はこのみで、まともな産業活動ができない事態。町道7号線で新野へ出て大型車が通っている。通行距離が長くなり、運搬も木材価格が安いところへ運送費が上乗せされて苦慮している。一日も早い開通をお願いしたい。

その他の質問

◆国土調査事業再開を

◆県行造林活用林道開設を

◆資材不足・資材高騰対策を

●金田 プラスチックごみは現在、第1、第3の水曜日が収集だが、忘れると1ヶ月向こうまで行ってしまう。もう少し間隔を近くして毎



小澤 亮子

問 地元出身者が帰って来なくなるために、町はどう本気で動くか？

既存の仕組みを活用しながら現状維持

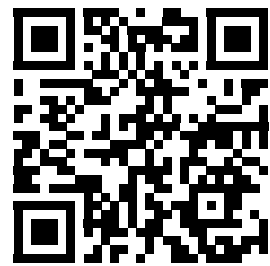
組みが始まり、地元を離れても身近なところに阿南町の情報を、幅広い年齢層に圧倒的に使われている公式LINE導入を検討しては。

■総務課長 町の公式SNSとも連携する既存の「あなんTOWN・情報メール」を活用していくため、公式LINEの導入は考えていない。

●小澤 既存のメールも登録したが、情報の届きやすさ使いやすさを研究し直すべき。Uターンする際、必要なのは住居と仕事。働く選択肢の1つとして地域おこし協力隊は。

■総務課長 町の募集要項や地域要件が合致すれば、Uターン者に限らず地域おこし協力隊としてお願いする選択肢はある。退任後も地域の理解が得られ、定着できる活動内容をどう組み

●小澤 Uターンしたい街ランキング全国版2025で阿南町が5位。中学校も縦割りの地域総合授業でいつか故郷へ戻りたくなる取り



あなんTOWN 情報・発信メール
登録して活用してみましょう

立てていくかが課題のため、現状維持。

●小澤 必要な事業の継承者がいないため消えていく現状の当町では、3年後を危惧して採用しない手はない。今後の貴重な担い手としてUターンで故郷に戻る協力隊であれば、地域の中での役割もより拾いやすいはず、ぜひ前向きに検討していただきたい。

その他の質問

◆阿南高校存続のため、町から積極的に働きかけを
◆国道通行止めから考える町内防災対策について



藤澤 隆壽

問 希望ある町づくりに期待を!!

町民の負託に答えるよう全力投球

■町長 民間企業と行政では目的が異なる。民間は売上げを上げ、いかに収入を稼いで従業員や株主に還元をしていくか。行政も収入と歳出を行うことは同じであり、組織の運営、人材活用、効率化は共通する課題であり項目。

行政は住民利益の最大化が目的になる。それは動ける人材を育成することにも、組織運営を担える人材育成が非常に重要になってくる。民間企業で培った経験を生かせるのであれば生かしていきたい。収入源は基金があるが、生かしながら収入を確保する中で、財源を確保することも考えていく。

●藤澤 勝野前町長の継承については。
■町長 引き継げるものは引き継ぎ、改善するものは改善する方向。目標は町民のためになるように進めたい。方法論は考えさせていだきたい。

●藤澤 国・県の先生方及び期待している。

私は、この町の未来のために働く覚悟を持っています。どうか、力を合わせて、次の時代をつくっていきましょう。

折山 和士



後援会チラシより

び各行政機関と信頼関係をどう築いていくか。前町長は特に力を入れ、バイタリティある行動力により信頼を得て支援を受けてきた。
■町長 前町長は長年行政に携わり、信頼関係をつくってこられた。同じようには厳しいが、できる限り信頼関係を築けるよう行動していきたい。

その他の質問

◆全国紙（新聞）掲載アンケート調査のUターンしたい街ランキングで阿南町が5位。内容は祭り他、自然、歴史、暮らし、文化に好感。町への提案として環境づくりが不可欠。アイデアを。



町内の施設介護における運営状況と制度理解

【講師】 阿南町社会福祉協議会
介護保険課長・ケアマネージャー 林 義勝氏

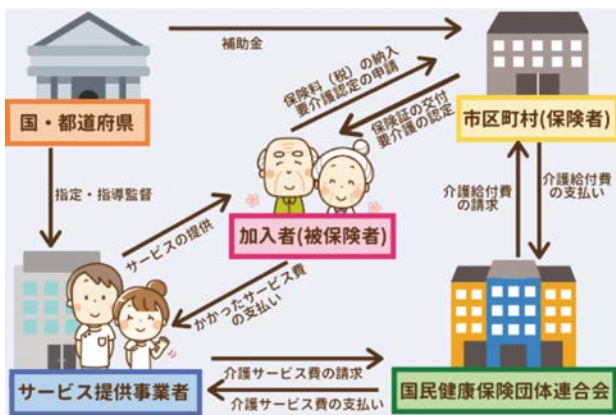


以下の流れで、2000年に創設された介護保険制度の基本を知り、在宅と施設介護の仕組みや独特の収益構造および職員の現在の処遇を踏まえ、町内施設の現状をご説明頂く貴重な機会となりました。そもそも介護職の給与水準は全産業平均より(R4時点で6.8万円)低く、介護報酬は公定価格(サービスごと算定した単位×サービス・地域別に設定した単価)のため、自由に価格設定できない。人口減少の進む中、当町の現状は、在宅・施設ともに認知機能低下の比較的軽度の利用者が増加傾向にあるとのこと。今後の課題が見えつつあり、介護を自分事としてとらえることの重要性を痛感しました。
(当番 金田豊・小澤亮子)

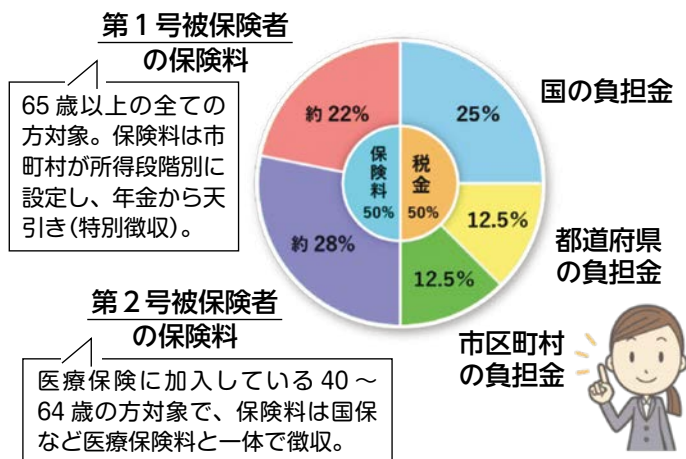
- 介護保険制度の基礎(制度の目的・被保険者1号、2号・要介護認定の流れ・サービスの種類)
- 在宅介護と施設介護の仕組みと収益構造(介護報酬の基本・基本報酬とは・処遇改善加算などの加算減算の考え方・稼働率の重要性・赤字、黒字の分岐点)
- 職員の処遇の変換と現状(人材不足の現状・賃金の推移・処遇改善加算の歴史・離職率と課題)
- 町内施設の現状(施設数・稼働状況・人材確保の課題)
- まとめ・質疑



介護報酬の請求と支払の流れ



介護保険の財源



それぞ「他山の石」と思
わず、自分の身は自分で守
ることを心掛け、無事故で
一日一日を安心して過ごせ
るよう願うものです。

近年、地球温暖化等で気
をつけたことは、今年4
月、気象庁が定義した、猛
暑超えの酷暑日(40度以上
の日)が予想され、熱中症
対策の必要性。それと台風
や線状降水帯による大雨被
害の防災対策です。どちら
も事前の準備が大切です。
また、昨年からの毎日のよ
うに報道され、全国的に社
会問題化している「熊出沒
による被害対策です。当町
でも昨年から3件の目撃確
認のみと、幸い被害はない
ですが、対策の基本は「遭
遇しないこと」です。

編集後記

更に詳しい情報は阿南町議会 HP へ

議会ホームページでは本議会詳細や、議会だよりを
ご覧いただけます。

<http://www.town.anan.nagano.jp/category/living-adm/town-information/an-an-gikai/>

阿南町議会

検索

